



東京海洋大学

海外派遣キャリア演習プログラム

「海外探検隊」第 12 期生  
(平成 30 年度春派遣) 募集要項  
海洋工学部



東京海洋大学 グローバル教育研究推進機構  
平成 30 年 9 月

## ○海外派遣キャリア演習プログラム「海外探検隊」について

本プログラムへの参加を通じ、学生は以下に掲げる目標の実現を目指すこととする。

- 幅広い分野に関心を持ち、将来イノベーションを起こせる人材になることを目指す
- 異なる価値観や世界観などの多様性を受容し、良好な人間関係を構築する方法を体験学習する
- グローバルに活躍する社会人と交流し、社会常識やマナー、グローバルマインドを学ぶ
- 海外生活や異なる環境に適応する能力及び技術を獲得する
- 英語や現地の言語を使って意思疎通を取り、総合的なコミュニケーションスキルを高める

### 1. 応募資格

- 平成30年度に東京海洋大学に所属する学部1年生、2年生、3年生であること。
- 原則TOEICスコア600点以上であること。ただし、もし点数が足りない場合でも、今後積極的に英語力の向上に取り組むことを約束する場合、応募可とする。（ただし、TOEICスコアが600点に満たない者は、渡航前までに英語学習アドバイザーのカウンセリングを受け、TOEIC点数アップに向けた具体的な英語学習計画を提出すること）
- 現地では英語でコミュニケーションをとり、プレゼンテーションをする機会も数多くあるため、そうした状況下でもしっかりと準備をして、チーム一丸となって課題に取り組むだけの覚悟があること
- 約1ヵ月間、人間関係でも生活環境でも、日常と違う状況の中で生活し研修を行うことを認識したうえで、派遣期間中の全日程に参加可能であり、かつ、協調性があり、心身ともに健康でチームワークよく集団生活ができること
- グローバルな活動に意欲が高く、プログラムを充実させるために主体性を発揮することができること
- 保証人（保護者）に参加の同意を得ていること

注1) TOEIC600点に満たない者は、出発前、もしくは帰国後に積極的に受験をしてTOEIC点数の推移をグローバル教育研究推進機構に報告すること

注2) 実習で参加できない派遣先がある場合でも申請可。実習期間と重ならないよう、派遣先の選定時に配慮する。実習期間を「参加志望書」の指定欄に記載すること。ただし個人的理由は認められない。

注3) 過去に応募して選抜されなかった学生の再応募を歓迎する

注4) 過去に選抜された学生の2回目以降の応募も可とするが、初めての参加者を優先的に選抜する。

## 2. 活動内容

### (全プログラム共通)

- ① 現地の行政機関、企業やビジネスマンを巻き込んだオリエンテーションの実施  
訪問先例：日本国大使館、日本貿易振興機構、日本商工会議所、科学技術振興機構  
その他、外資系、日系、ローカル資本系企業、現地日本人駐在員、派遣国のパートナー大学との共同プログラムと位置づけ、現地の学生の参加を呼びかけることで、二国間の学生交流を深める（派遣国により交流内容は異なる）
- ② 1ヶ月の最後に成果報告会及び感謝の会を実施するが、すべての内容は学生で企画・運営する

～派遣国別～

### <キャリアプログラム>

シンガポール：水産養殖企業の企業研修、シンガポール国立大学熱帯海洋科学研究所の研究室研修  
中 国 ：日系小売企業（杭州）、日系食品企業（香港）の企業研修、香港大学理学部の研究室研修  
ベトナム ：地元水産商社の企業研修、ハノイ工科大学の研究室研修

### <リサーチプログラム>

台 湾 ：台湾大学海洋研究所の研究室研修  
タ イ ：チュロンコン大学理学部、およびブラパ大学水産学部の研究室研修

参考ホームページ：<http://www.kaiyodaiglobal.com/abroad/>

## 3. 派遣先・人数・派遣期間

派遣先	派遣人数	派遣期間（予定・数日の変更の可能性有）
タ イ	4名	2019年2月22日から3月20日
中 国	4名	2019年2月24日から3月25日
ベトナム	4名	2019年2月24日から3月22日
台 湾	4名	2019年3月3日から3月29日
シンガポール	4名	2019年3月5日から3月31日

※過去に居住したことのある国への派遣は不可。

#### 4. 参加費用

派遣先	予想される経費の総額 (渡航費・生活費・宿泊費・保険等)	渡航費補助及び奨学金 (いずれも渡航後に支給、返済不要)		総額から奨学金等を差し引いた、予想される実質の経費
		大学(後援会)からの渡航費補助額 (数字は過去の実績であり、変更の可能性あり)	JASSO(日本学生支援機構)奨学金、有資格者のみ ※1	
シンガポール	約 30 万円	5~15 万円	10 万円	10 万円 ~20 万円
中国	約 30 万円	前回と行程が異なるため参考データなし	6 万円	
タイ	約 18 万円	1~5 万円	7 万円	
ベトナム	約 18 万円	1~5 万円	7 万円	
台湾	約 18 万円	1~5 万円	6 万円	

※1 下記の資格・要件を全て満たすこと

- ①日本国籍を有する者、または日本への永住が許可されている者
- ②選考時の前年度成績評価係数が2.30以上であること(下記参照)  
(2.00~2.30未満の学生に関しては場合により申請可、詳細は要相談)
- ③家計基準(世帯年収基準：詳細は要相談)

渡航費補助及び奨学金は、両方の受給も可。

[成績評価係数の算出方法]

成績評価	優	良	可	不可
成績評価ポイント	3	2	1	0

(計算式)

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

注意) 総登録単位数には、登録して成績評価の付かない科目(出席不足、試験欠席等)を含むものとする。

#### 5. 授業科目としての取り扱いについて

初履修者は「長期学外実習(海外)」(2単位)として実施する。2回目履修者は他学部・他学科科目の「海外派遣キャリア演習Ⅱ」(2単位)として実施する。

## 6. 応募方法

### (1) 提出書類

- ・参加志望書（所定の様式）
- ・TOEICスコア表のコピー（IPも可）、未受験の方はその他の英語資格試験も可
- ・成績表のコピー（単位数、取得年度、A～T 評価の記載されているもの、成績証明書は不可）

※ 日本学生支援機構 JASSO「海外留学支援制度」（奨学金）に申請する人は上記書類に加えて

- ・世帯年収がわかる資料（源泉徴収表（両親とも働いている場合は2通）、所得証明書、確定申告資料等いずれかのコピー）
- ・家計基準調査項目表

※ なお、日本学生支援機構第二種奨学金受給中の学生については、上記年収、家計基準に関する書類の提出は不要。

※ 原則として、応募書類は返却しない。

※ 応募書類で取得した個人情報、今回の選考以外には使用しない。

「参加志望書」「面接時間調整表」「家計基準調査項目表」はグローバル教育研究推進機構HPに入りダウンロード。

(<http://www.kaiyodaiglobal.com/abroad/abroad3/application/>)

### (2) 派遣国について

※ 派遣国は本人の適性と志望動機及びプログラム内容との適合性を考慮して決定する

## 7. 応募締切

10月9日（火）13時

※ メール、郵送での提出ではなく、プリントアウトした書類を直接越中島地区事務室教育支援係に持参すること。なお、提出の際の質問は「12..問い合わせ先」のグローバル教育研究推進機構にて受け付ける。

※ 書類に不備があった場合、受付は不可となるため、再度修正して期限内に再提出すること

## 8. 提出先

越中島地区事務室教育支援係

## 9. 選考方法、選考結果について

- ・書類選考後、書類選考通過者に面接を行う。
- ・書類選考の結果は、グローバル教育研究推進機構より各自にメールで連絡。
- ・面接は締切前から順次実施。最終選考結果は10月下旬に各自にメールで連絡。

## 10. その他注意事項

- 海外派遣にあたっては、本人・保証人(保護者)から誓約書の提出を求めるので、事前に保証人(保護者等)に参加についての同意を得てから応募すること。
- 派遣期間終了後、海外派遣キャリア演習プログラムの学内外の広報及び、次期生募集のガイダンス等に協力すること(帰国直後に開催される活動報告会への参加は必須、その他は任意)。
- 活動記録として、ホームページや事業報告書等にプログラム実施中に撮影した写真を掲載する場合がありますことを了承すること。
- 選考された学生には、事前研修を実施する(10月~1月)。内容は、オリエンテーション、危機管理研修、プレゼン研修、社会人交流研修。研修スケジュールの詳細は、グローバル教育研究推進機構まで確認すること。各研修は18時から19時半の時間帯に実施するので、該当日はアルバイト等の予定を入れないこと。
- 派遣先国にはノートパソコン、またはタブレットを持参(プレゼン資料作成に必要)。
- 選考された学生でクレジットカード未取得者は、派遣が決定次第クレジットカードを作成すること。
- パスポート有効期限は渡航日から半年以上あること。

※以上の注意事項は、プログラムを成功させるために大変重要であるため、必ず守ること。

※事前研修に2/3以上の出席がない場合、自動的に参加資格が失効するため、注意すること。

## 11. 担当教員

小松 俊明 (教授・同機構グローバル人材育成部門長)

## 12. 問い合わせ先

東京海洋大学 グローバル教育研究推進機構 ~ 大学会館(生協2F)

電話:03-5463-0816(事務担当:佐藤真弥、佐藤裕美子)Email:[global@m.kaiyodai.ac.jp](mailto:global@m.kaiyodai.ac.jp)

HP:<http://www.kaiyodaiglobal.com>